事務局便り

第９７号（令和４年６月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

今期（４・５月）は、未だ武漢ウィールス禍の渦中にはありますが、何とか正常な状態に戻さんと決意し、努力致しました。

その結果、皆様のご協力も頂き、３年振りに昭和殉難者法務死法要並びに総会も滞りなく実施する事が出来ました。

今後も色々な問題点も生起するでしょうが、力強く乗り切って行く所存ですので、ご協力の程よろしくお願いいたします。(加賀本)

案内事項

令和４年度第２回理事会

令和４年度第２回理事会を７月１４日（木）１６００～１７００で開催を予定しております。

理事の方には、別途ご連絡申し上げます。

なお、その後１８００からは歴史研究会を実施します。

担当　熊谷

６月・７月度歴史研究会

令和４年６月・７月度の歴史研究会は、以下で予定します。

何方でも参加できます。志のある方をお誘い下さい。

また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)

大阪駅前第１ビル 11 階南側です。

講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。

参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、４日前までに加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。

担当　加賀本

℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877

Mail：akio@room.ocn.ne.jp

６月度

日時：６月３０日(木)　１８～２０時

内容：『インドから見た対中関係の変遷と、日本のアジア外交のあり方について』です。

賛助会員の京都大学法学博士：岡本幸治先生に担当して頂きます。

先生はインド関係の専門家として、アジア、特に近年台頭しつつある中・印と、それに対する祖国日本の対応の在り方について関心を抱かれてこられました。

今次歴史研究会においては、

１．独立以後のインドと共産中国の関係は今日迄どのように変遷してきたか。

２．それに対して日本はどのように対応してきたかを、インドに力点をおきつつ概説して頂き

３．新世紀における祖国日本のアジア外交のあり方について私見を披露して頂きます。

我が国が今後協力関係を深めるべきインド関連の視点からのご意見を踏まえ、大いにディスカッションしましょう。

７月度

日時：７月１４日(木)　１８～２０時

内容：『中国帝国・崩壊のＸデー、打倒習近平ののろしが上がった』です。

田川顧問に担当して頂きます。

2021 年 11 月 1 日…中国政府は国民に向けて「生活必需品を備蓄せよ」と通達を出しました。

しかもその後、「戦備用品」としてバックパックを国民に提供したり、軍を大量に動員している映像や写真がメディアから流れ…中国国内ではスーパーで買い込みが殺到するなど、まさに「戦争が始まる」危機感にあふれていました。

もしあなたが、メディアが報じるように「中国は本当に強硬路線で戦争をするつもりかもしれない」と考えているのなら、それは考え直す必要があるかもしれません。
事実、最近の中国の一連の動きは、他の国と戦争をしているどころではなく、むしろ「内部の権力闘争による政権崩壊」が近いことを示しており、本当の敵は内部にいるということがわかるからです。
TAIWAN VOICE REPORT Vol.11 『打倒習近平ののろしが上がった』林健良・藤井厳喜共著も併せて解説して頂きます。
大いにディスカッションしましょう。

令和４年度会費納入のお願い

会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。
本年度会費未納の方は、当会の財政的窮乏をご明察の上、９６号に同封しておりました「近畿偕行会（00900-6-29358）用「払込取扱票」にて、メール連絡会員の方は、近畿偕行会（00900-6-29358）宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。
担当　加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。
令和３年度末で、会員数は１２０名を割りこむ見込みです。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！
◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！
◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！ご協力を衷心よりお願い致します。情報を頂ければ、事務局で対応いたします。
担当　加賀本

報告事項

高野山昭和殉難者法務死追悼年次法要

令和４年４月２９日（金）１１時から高野山奥の院「昭和殉難者法務死慰霊碑」前に於いて
高野山真言宗管長総本山金剛峰寺座主大僧正葛西光義猊下ご導師のもと、年次法要を行いました。

英霊の鎮まれる昭和殉難者法務死慰霊碑

特に本年は、武漢ウィールス禍を乗り越えて、３年振りにご遺族・戦友をお迎えでき、第３師団師団長陸将荒井正芳閣下初め自衛隊関係者、関西防衛を支える会有志、志し熱き一般参加者の方々等多くのご参列を得て、盛大かつ厳粛に執り行うことが出来ました。
鮮やかな新緑もご英霊の涙を思わせる降雨にけむる生憎の天候でしたが、法要の終わる頃にはほぼ止み、御霊の荒ぶるお心を少しはお慰めする事が出来たかと思料いたしました。
本会からは加賀本・盛田・熊谷・小林・小山が参加しました。

令和４年度総会開催

本年度の総会は、薫風かおる５月１９日(木)、３年振りに正常の状態に戻し、４８名の参加を得て、元大阪市公館（迎賓館）「ＴＨＥ　ＧＡＲＤＥＮ　ＯＲＩＥＮＮＴＡＬ　ＯＳＡＫＡ」で、盛大に実施する事が出来ました。

ただ自衛隊関係者は、統制もあり、多くは参加頂けず、しかも懇親会は欠席となったのは寂しくもあり残念でもありました。

御来賓１７名は以下の方々でした。

自衛隊大阪地方協力本部長	陸将補　柳裕樹	殿
第３師団司令部第４部長２等陸佐	山本隆司	殿
参議院議員片山大介殿代理　秘書	上田弘文	殿
前衆議院議中山泰秀殿代理　秘書	林満里奈	殿
大阪府府議会議員	西村日加留	殿
芦屋市市会議員	中島かおり	殿
伊丹市市議会議員	花田康次郎	殿
関西防衛を支える会会長	高橋　忠義	殿
関西防衛を支える会会員	古澤　清	殿
自衛隊大阪連絡協議会名誉会長	山本　常一	殿
日本人の心を伝える会会長	工藤　皇	殿
日本人の心を伝える会	池田　実	殿
大和心のつどひ代表	吉村　伊平	殿
日本連盟大阪腑郷友会婦人部長	平田　和江	殿
特攻慰霊顕彰会理事	三浦　時生	殿
すばらし事務所代表	川村　隆夫	殿
兵庫県隊友会顧問	石飛　宗一	殿

行事次第及び概要は以下の通りです。

１．総会

事業報告・事業計画及び収支報告・監査報告
年度予算の承認

２．陸上自衛隊中部方面音楽隊演奏

９名のプロムナード編成でしたが、茶円３曹の名司会の下、軍歌・戦時歌謡メドレー等の素晴らしい演奏と菊川２曹のテノールの歌声に聞き惚れました。

また、各軍学校校歌演奏では、３年振りに腹からの大合唱で老いの血を燃やしました。

中部方面音楽隊の演奏（ＭＡ広報提供）

３．記念講演

講師は、

自衛隊大阪地方協力本部長陸将補　柳　裕樹　殿

演題は、「最近の国際情勢―我が国を取り巻く安全保障環境とその変化への対応」でした。

先ず、我が国の近くに居座り、我に仇なすロシア・中国・北朝鮮の各国の情勢をわかりやすく解説され、次いで今後の戦いは、新たな戦争領域・形態への進化があり、極めて難しい、困難なものになるとの見解をお示し頂きました。

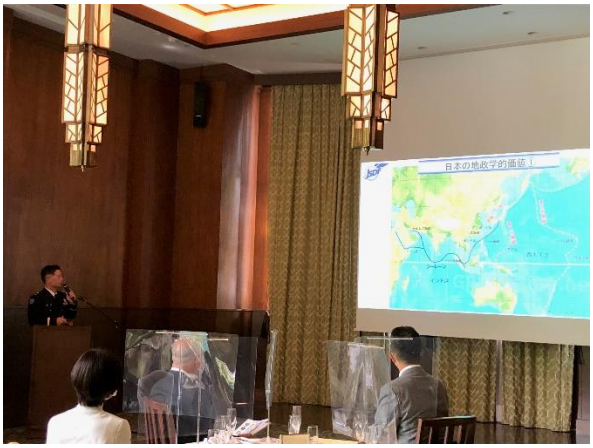
戦争領域は、宇宙戦・サイバー戦・電磁波戦、ハイブリッド戦、ドローン・AI戦法、極超音速滑空兵器の登場へと進化している。

また、戦争形態は、電撃戦、情報化戦（認知戦）・ネットワーク化・精密誘導化・無人化、電磁波、超限戦、知能化戦等に進化・変化する。

この進化・変化にいかに対応するかが我が国にとって今後の極めて重要な課題となる。

防衛態勢・体制強化、新領域への対応　、日米同盟及び関係国との安全保障協力、人材の確保等等、やるべき課題は余りにも多く、時間も金も無く前途多難！！　危急存亡の秋、この国難を考えたら夜も寝られない！　覚悟を新たにする貴重な講演となりました。

とにかく志を同じくする皆さん！　頑張るしかありません！　頑張りましょう！！！



柳陸将補の講演状況（大阪地本提供）

４．懇親会

大先輩で最長老の陸士５９期余田和雄先輩のお元気な「乾杯音頭」で始まり、和やかに、３年振りの再会を喜び合い、美食・美酒を楽しみ、時間一杯、懇親の実を挙げました。

懇親会の一景（岸岡サトミ様提供）

最後に、２世正会員小林一朗殿（陸士５８期利外殿ご子息）による「万歳三唱」で締め、来年の再会を約して、無事終了しました。

担当　加賀本

令和４年度第１回理事会

４月１４日（木）１６００から第１回理事会を実施し、総会等の準備事項等を検討しました。

参加者は、田川顧問、加賀本会長、熊谷事務局長、西川理事、小山理事の５名でした。

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊伊丹駐屯地創立記念行事

４月２日（土）伊丹駐屯地創立７１周年記念行事が３年振りに実施されました。

未だ武漢ウィールス禍で参加者は限定され、駐屯地の一般開放もなく、寂しい感じでしたが、桜だけは満開で迎えてくれました。

当会から会長以下近隣在住者５名が参加しました。

担当　加賀本

同期の桜を歌う会

今年も４月２日（土）１３：００から満開の桜が咲き誇る大阪護国神社社殿横で「同期の桜を歌う会」が開催されました。

「今日、日本がこれまで復興、発展を遂げたのも、かつてこの歌と共に戦場に赴き、祖国のために青春をささげ、また多くの戦友があったおかげです。其の思いを込めて私たちが桜花の下に相集い、英霊と再会して、その御霊に心から感謝し、「同期の桜」を歌います」と、主催者側はその趣旨を掲げて参加を呼び掛け、それに応じ多くの声自慢、軍歌・懐メロファンが参加しました。

英霊と共に大合唱

晴天に恵まれ、満開の桜、落花もある中、参加者一同、英霊に届けとばかりに、音程も何のその蛮声を張り上げて合唱していました。

折から多くの花見客もあり、興味深げに聞き入っ

ていました。特に若者、夫婦、子供連れ等も意外に多く、心強く感じました。
今年は当会から熊谷・太田の２名が参加しました。
担当　熊谷

陸上自衛隊第３師団創立６１周年記念行事

陸上自衛隊第３師団創立６１周年・千僧駐屯地創設７１周年記念行事が、５月１５日、千僧駐屯地に於いて実施されました。
行事は観閲式と訓練展示のみの実施となりましたが、３年振りに精鋭たちの雄姿を確認する事が出来ました。

３年振りに精鋭達と再会

武漢ウィールス禍を克服する万全の態勢下、駐屯地も一般開放され、好天にも恵まれ、入場者も１万８０００人を超える大盛況だったとの事です。
子供広場で大喜びする子供たちの大声が嬉しい事でした。　担当　加賀本

大阪護国神社春季例大祭

大阪護国神社春季例大祭が５月２０日（金）１０時から斎行されました。
武漢ウィールス禍対策の万全を期され３年振りに遺族・一般参列者を迎えての催行となりました。
晴天に恵まれ志篤き多くの方々が参列され盛大かつ厳粛な祭典となりました。
本会から会長の加賀本が代表参加しました。
担当　加賀本

参議院議員うとたかしと「日本の安全保障を考えよう in 関西」

５月２２日（日）１７時から大阪新阪急ホテルに於いて関隆会主催で、参議院議員「うとたかし」とゲストに前防衛副大臣「中山泰秀氏」を迎え、日本の安全保障を考えよう in 関西」が実施されました。
「ウクライナに学ぶ、日本のサバイバル戦略」と題して、両所が本音を吐露される素晴らしい講演会なりました。
多くの参加者があり、当会からも会長以下近隣在住の会員が参加しました。
担当　加賀本

関西地区海軍関係戦没者追悼式

関西水交会主催の関西地区海軍関係戦没者追悼式が５月２９日（日）大阪護国神社に於いて開催されました。海上自衛隊呉地方総監伊藤　弘海将の防衛講話後、「海軍関係戦没者慰霊碑」前で厳粛に執り行われました。
本会から加賀本会長が代表参加しました。

東郷祭

第７４回東郷祭が、大阪護国神社に於いて、東郷平八郎元帥の命日に当たる５月３０日１０時から斎行されました。
当神社に昭和２３年元帥のご遺髪が奉祀されてより、元帥の御霊への感謝とご遺徳を偲ぶため続けられている行事との事です。
本会から熊谷事務局長が代表参加しました。

紹介案内

和歌山偕行会便り

「気が重いウクライナ戦争に関する分析？！」
世界規模で重大な影響のある２０２０年の米中覇権争い下の米国大統領選に引き続く今回のウクライナ戦争ですが、ウクライナ国民の悲惨さやウクライナ・ロシア両軍と各々に連携する傭兵軍団の

殺し合いを思う時、陰鬱な気持ちになります。
大統領選では、ロシア・ゲートが取り沙汰され、明らかに中共が絡んでいましたから、バイデンが大統領になるまでのトランプ陣営と民主党及び中共との鎬を削る攻防は、壮大なドラマを観劇する様な醍醐味と興奮を覚えました。何れにせよ、前回の米国大統領選と今回のウクライナ戦争は関連しています。
ウクライナ戦争で最も得をしたのは、「中共だ」と分析する人もいますが、私は、最も得をして、かつ損をしたのは米国だと睨んでいます。
得をしたのは、国益と云えるかは疑問ですが、米国の産軍複合体と石油メジャーです。
損をしたのは、経済覇権と云う観点からペトロダラー制と SWIFT 崩壊の危機です。
サウジアラビアは、既に人民元やユーロでの取引に積極的です。No1 の覇権国が避けねばならない No2 と No3 の連携を招き入れたのは、外ならぬ No1 の米国です。
「ウクライナ戦争後の日本の防衛は？！？」　この度のウクライナ戦争で、今まで判らなかったことや曖昧だったことが、明確になったことが幾つかあります。
その内最も重要なことは、NATO やその盟主・米国は、ウクライナに対して武器支援や避難民受入はしても、援軍は送って呉れないことです。
そして、プーチンの核武装を背景とした恫喝に、米国ですら贖えないことです。つまり、核武装国と米国は戦う気がないことが明確になりました。
次に、ロシア・ウクライナ共、非正規軍が参戦していることです。
元来、戦争は、正規軍同士が戦うのが原則でした。正規軍兵士が民間人を殺戮・強奪・強姦等をすることは許されません。その様な行為を罰する為に、各国の軍隊には軍事裁判・法廷があり、歯止めになっているのです。
ウクライナ戦争では、双方とも非正規軍・傭兵軍団が参戦していますから、当然、国内に残留したウクライナ国民は悲惨なことになります。更には、プーチンに対する制裁措置を米国と共に歩調を合わせたのは止むを得ないことですが、その結果として、「日本は、ロシアの敵対国」となりました。
日本を取り巻く軍事情勢は、中国・北鮮・ロシア、何れも核保有国の三正面対処の防衛態勢を余儀なくされました。この深刻な状況を、政治家達はどう捉えているのでしょうか？　具体的な対処策を、内閣総理大臣は防衛大臣に検討するように指示したのでしょうか？？　岸防衛大臣の苦悩が伝わってきます。（前和歌山偕行会会長　奥野　耕三）

編集後記

本年度、３年振りに総会を実施し得て、先輩方のお元気な姿を拝見でき、懇親の実も上げられ、盛会裡に終われたのではないかとホッとしています。
武漢ウィールス禍もそろそろ乗り越えられるかと思ったら、ロシアによるウクライナ侵攻が生起。
翻って、アジアでも中共による台湾侵攻が懸念されます。台湾侵攻は生起するか？？　ある人曰く習近平が賢ければ「無い」、バカなら「有る」・・評論家石平氏は、習近平はバカだと明言されている。これは恐ろしい事だ！！！
そろそろ梅雨の時候となりますが、会員各位におかれましては、健康にご留意をされて、ご健勝でお過ごし下さい。
担当　加賀本

近　畿　偕　行　会
会　長　加賀本 昭雄

編集責任者　熊谷　勉
〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201
Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97
Tel:072-785-8954